

海外派遣留学生  
留学報告書

学部学科:	理学部科学科	学年:	3年
留学先:	国: オーストリア	大学/機関:	ウィーン大学
期間:	2024年 2月 4日 ~ 2024年 2月 25日		
	短期・中期・長期 ※○で囲んでください。	計	3週間

[1] 参加した語学コースの時間数/科目名(受講科目・複数可)

・授業時間数:19 授業 57 時間

・科目名:Februar Intensiv A1.2

時間	月	火	水	木	金	土	日
9時~12時15分	○	○	○	○	○	Free	Free

[2] 授業内容について教えてください。

(クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等)

クラス人数:16人(日本、ウクライナ、アメリカ、カナダ、イラン、フランス、カザフスタン、タイなど)

担当の先生: Mihaela Stollhof

教科書に沿った授業。基本的にドイツ語を用いて行われる。単語などで補足をするときは英語。

使用教材: Schritte plus Neu Österreich A1.2

[3] 課外活動・研修旅行・余暇の過ごし方について教えてください。

課外活動、研修旅行はない。美術館等観光地を巡った。

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)

食堂

[5] 宿舎(寮やホームステイ)での生活について教えてください。

部屋:1部屋 2人で使用

様子:一人の部屋は確保されているが、キッチン、トイレ、風呂はもう一人の住民と共同で利用した。

海外派遣留学生  
留学報告書

[6] 留学中に楽しかったこと、苦勞したことを教えてください。

- **楽しかったこと:**ドイツ語でのコミュニケーション。ウィーンの街並みや文化を目で見る事ができたこと。
- **苦勞したこと:**1週間目はドイツ語で行われる授業に苦勞した。授業で扱う文法に関しては日本で習ったものであったが、聞き取ることが容易でなかった。話すことにも苦勞した。

[7] 留学の成果について教えてください

- 1) **語学力の向上:**ドイツ語に関しては格段に向上した。先生が授業中に発するドイツ語が聞き取れるようになった。ドイツ語のCMも若干聞き取れるようになった。英語に関して、聞き取る能力は向上した。自分が喋る時は基本的にドイツ語を用いていたため、英語の喋る能力に関しては特段の成長はみられなかった。
- 2) **専門知識の向上:**私自身は化学科であり、化学に関しての直接的な専門知識の向上はなかった。日本で実物を見ることが難しい様々な美術作品を見ることができ、美術に関する知識は向上した。
- 3) **自己成長など**  
新たな価値観、文化を知ることができたのは自分にとって良い経験になった。留学自体は3週間という短い期間であり、これからの行動が重要であると考えている。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

留学の目的によっても異なるが、できる限りドイツ語、英語の勉強をしてから行くとより楽しい留学になると感じた。

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

項目※詳しく記入して下さい	金額(当時の日本円)
渡航費(旅行会社に支払った経費)	45万円
授業料以外の諸経費(教材費・課外活動・保険料等)	1.5万円
私生活における諸経費(食費・交通費・洗濯費等)	10万円
現地からの奨学金がある場合	0円
お土産代や個人的な買い物	7万円
その他( )	
留学に関する費用の総額	63.5万円

海外派遣留学生  
留学報告書

